



令和 7 年 1 0 月 2 0 日

第 7 8 回「都民の消防官」表彰について

「都民の消防官」表彰は、産経新聞社の主催により消防の第一線で活躍している職員を対象に、都民の生命、身体、財産を火災等から守るため、長年にわたり職務に精励し、その功労が特に顕著な消防官を選出し、「都民の信頼と感謝を集める人」として広く都民に紹介するため昭和 3 0 年に制定されたもので、これまで 3 6 1 人が受章しています。

1 受章者（詳細は別紙のとおり）

(1) 消防活動功労

志村消防署 消防司令補 はしもと 橋本 かつゆき 勝幸

(2) 救急活動功労

渋谷消防署 消防司令補 すどう 須藤 けんじ 健二

(3) 予防業務功労

向島消防署 消防司令 かのう 加納 てるひこ 照彦

(4) 機関運用功労

小石川消防署 消防士長 かとう 加藤 よしとか 佳孝

(5) 各種業務功労（教育訓練業務・女性活躍推進）

矢口消防署 消防司令補 なかむら 中村 さやか

2 表彰式

(1) 日時

令和 7 年 1 0 月 2 7 日（月） 1 0 時 2 0 分から 1 1 時 1 5 分まで

(2) 場所

千代田区大手町一丁目 7 番 2 号

東京サンケイビル内 大手町サンケイプラザ 4 階ホール

(3) 主催等

主催：産経新聞社

後援：フジサンケイグループ

協賛：三菱地所株式会社、東京ガス株式会社、株式会社サンケイビル

富国生命保険相互会社、一般財団法人東京都消防懇話会

公益財団法人東京連合防火協会、公益財団法人東京防災救急協会

3 その他

- (1) 取材の際は自社腕章を着用し、係員の指示に従ってください。
- (2) 駐車場はありませんので、あらかじめご了承ください。
- (3) 取材を希望する社は、10月24日（金）12時00分までに広報課報道係まで電話でご連絡ください。

問合せ先

〔 東京消防庁 電話 3212-2111
広報課報道係 2345～2349 〕

【消防活動功労】

志村消防署 消防司令補 橋本 勝幸（はしもと かつゆき）

昭和59年4月入庁以来、消防活動一筋に、弛まぬ努力と研鑽を積み重ね、都民の生命、身体及び財産を守るため昼夜を問わず尽力し続けている。また、消防戦技スペシャリストとして、類まれなる現場経験と技術を有し、日々、都民の安全、安心の確保に努めている。

性格は親身で情熱的であり、上司や同僚からの信頼が極めて厚く、他の模範となり続けている人材である。特に部下指導については、実績と経験を踏まえて災害実態に即した訓練指導をするとともに、親切、丁寧で分かりやすい指導を行い、多くの若手職員や後継者を育成してきており、部下から全幅の信頼を寄せられる人格者である。



【救急活動功労】

渋谷消防署 消防司令補 須藤 健二（すどう けんじ）

平成4年4月入庁後、長年にわたり救急業務に従事し、昼夜を分かたず尽力している。救急救命士としての高度な知識技術を遺憾なく発揮し、現在も救急隊長として救急現場の第一線で活躍しており、都民の安全、安心を守る強い使命感のもと「東京の救急」の発展のため、適切に職務を遂行している。

さらに部下職員の指導及び育成にも熱心に取り組み、支援デブリーファーズの経験をもとに各救急隊員の心身のマネジメントにも好影響を与え、組織への貢献は多大である。性格は、明朗快活で献身的かつ真摯的であることから上司同僚からの信頼も極めて厚く、また、部下からも全幅の信頼を寄せられている人物である。



【予防業務功労】

向島消防署 消防司令 加納 照彦（かのう てるひこ）

平成2年4月に入庁以来、長年にわたり、予防業務の最前線で活躍し、「建物利用者の安全を第一に考え、用途に応じた建築指導を行うこと」「都民が安心して暮らせる防火管理や危険物指導を徹底すること」「火災が発生した際には原因を究明し、火災を減らすこと」を信念として、都民の安全と安心を守るために尽力してきた。

これまでに担当した立入検査や使用検査は約7,000件に及び、大規模な危険物施設の設置や震災時ヘリコプター発着場の設置など、重要なプロジェクトにも携わり、その功績は高く評価され、数々の表彰を受けるなど、組織においても多大な貢献をしている。

予防業務に対する情熱は非常に強く、都民の生命と財産を守るために責任感を持って職務を遂行している。次世代の東京消防庁を担う人材育成にも力を注いでおり、部下から全幅の信頼を寄せられる人格者である。



【機関運用功労】

小石川消防署 消防士長 加藤 佳孝（かとう よしたか）

平成元年４月に入庁し、平成３年からポンプ車機関員、平成１８年から特別操作機関員として、長年にわたり機関員として勤務をしている。自署管内のみならず近隣署所までの地理水利の調査及び把握に精通し、安全かつ確実な車両運行に努め、都民の生命、身体及び財産を守るため日夜尽力している職員である。

性格は明朗快活かつ堅実であり、上司や同僚からの信頼は極めて厚く責任感も非常に強い。これまでに培った知識や経験を活かし、若手機関員への指導にも積極的に尽力し、東京消防庁を支える機関員の育成にも寄与している。



【各種業務功労（教育訓練業務・女性活躍推進）】

矢口消防署 消防司令補 中村 さやか（なかむら さやか）

平成５年４月入庁以来、消防活動経験を地道に積み上げ、弛まぬ努力と研鑽を重ね、女性として全国初のポンプ車機関員に任命される等、女性職域拡大のパイオニアとして絶大な存在感を発揮し、都民の生命、身体及び財産を守るため日夜尽力している。

性格は、親身、情熱的であり上司や同僚からの信頼が極めて厚く、他の模範となり続けている人材である。普段は、防災安全スペシャリストとして、都民の安全、安心を守るため、適正な指導を行っているが、現在も機関員に対して、ポンプ機関スペシャリストとしての経験を踏まえた指導を行い、多くの若手職員や後継者を育成してきており、部下から全幅の信頼を寄せられる人格者である。

